

実習・国家試験勉強・就職活動・
ケーススタディなど大忙し！！

多重課題の工夫について



Aさん（現役生・女性・就職予定）

《実習・ケーススタディ》

実習中は、集中できるように他の課題やケーススタディは事前に済ませるようにしていました。ケーススタディは、看護研究の授業が開始する前に文献を探し、読んでおくことでスムーズに取り組むことができました。

《就職活動》

1年生の頃から興味のある分野があったため、その分野に力を入れている病院を早めから情報収集し、2年生に進級してからは、様々な病院説明会やインターンシップに参加するようにしていました。

《国家試験》

2年生の時に必修問題集を解くこと、なぜその解答にしたのかも答えられるようにし、問題の暗記でなく根拠を理解し、知識の定着を心掛けていました。また、実習開始前にその分野の問題を解くようにしていました。

Bさん（社会人・男性・就職予定）

《ケーススタディ》

先輩方の書き方を見てイメージをし、ケーススタディを始めた時にスムーズに書けるようにしていました。過去の先輩方の論文は、学校の図書室にあるため活用していました。

《就職活動》

いくつかの病院の試験を受けられるように、同時並行で準備しました。

《国家試験》

アプリを活用しながら、早めから国家試験勉強を始めました。レビューブックは実習にも国家試験勉強にも使えるため、発売されたらすぐに購入しました。



Dさん（社会人・ママさん・就職予定）

《子育てとの両立》

子どもたちと同じように早寝早起きを心掛け、体調を崩さないようにしてきました。実習中は家族と協力し、子どもたちの送迎やお世話をすることで、課題や記録・テストに集中が出来ていたと思います。勉強は平日を中心に子どもたちと一緒に取り組み、週末は子どもたちと目一杯遊べるようにしていました。また、1年生の頃から国家試験のアプリを活用し、コツコツ勉強していました。学校の課題はすぐに取り組み、子どもたちの体調不良時にも焦ることがないようにしてきました。

《就職活動》

1年生のうちから興味のある病院を調べ、見学に行くようにしていました。3年生で動き出すと実習や勉強で大変なので、情報収集は2年生までに終わらせておくのが良いです。

4人の学生の共通点

優先順位を考え、計画的に進めました！

